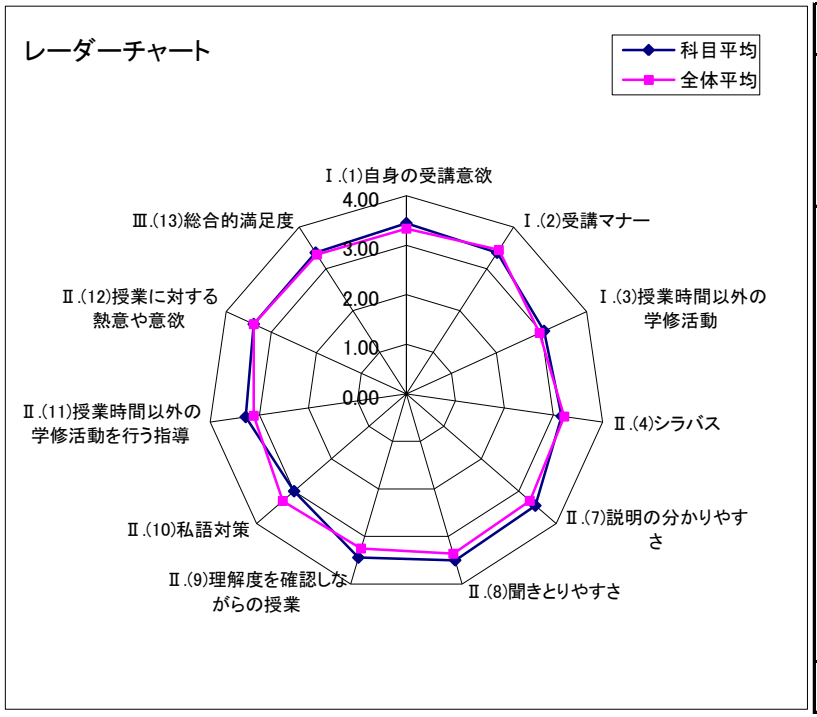
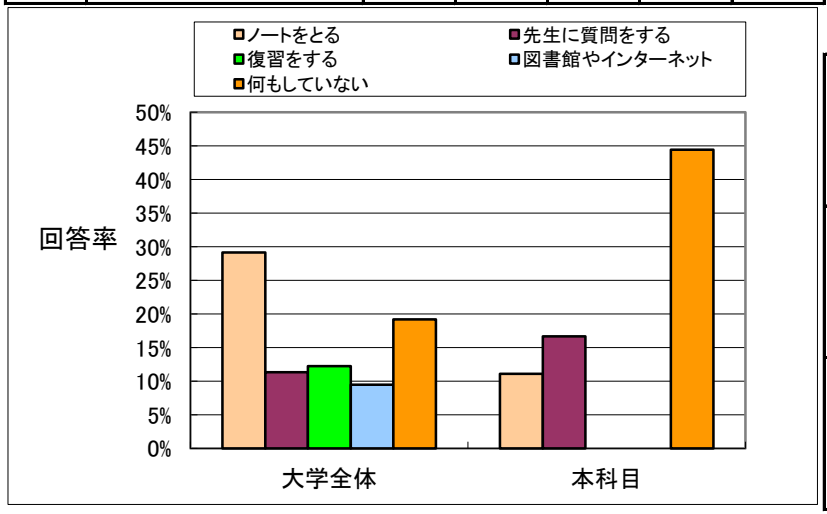
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.44	3.33
	Ⅰ.(2)	3.39	3.45
	Ⅰ.(3)	3.06	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.17	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.44	3.30
	Ⅱ.(8)	3.50	3.36
	Ⅱ.(9)	3.44	3.25
	Ⅱ.(10)	3.00	3.30
	Ⅱ.(11)	3.28	3.11
	Ⅱ.(12)	3.39	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.39	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	11.1%	16.7%	0.0%	0.0%	44.4%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.30	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.32	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.39	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	4232
科目名	日本語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業計画どおりに順調に進んだ。授業アンケートとしては、全体平均と同レベルである。難易度については、回答では大学全体よりも少し難しいという結果である。その点は、初年次教育の一環として、今後の大学の授業でも必要な知識を学ぶということであり、あらかじめ想定されていたことである。

②授業の進め方について

「説明の分かりやすさ」と「聞き取りやすさ」については、全体平均を少し上回る結果であった。「学生の理解を確かめながら、授業を進めているか」という点もほぼ同様である。その点では多少評価を頂けたと思っている。「私語が少なかったか」については全体平均を下回り、今後の課題である。満足度については平均レベルであり、「あまりそう思わない」が1名、「そう思わない」が0名ということで、等しく一定の評価が得られたと思っている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケート全体を通しての自己評価と、今後の授業改善計画
　各項目4点満点であるので、平均点ではあまり全体平均と差がつかないが、詳細を見ると否定的な回答数は少なく、初年度教育の科目としては一定の評価が得られたと考えている。私語については座席指定をする等あらかじめ対策を講じていたが、さらなる改善を検討していきたい。

奈良産業大学